



このマニュアルについて

ここでは、このマニュアルの目的、対象読者、構成、および表記法、そして関連資料の入手方法について説明します。

次のトピックについて取り上げます。

- [目的 \(P.ix\)](#)
- [対象読者 \(P.ix\)](#)
- [マニュアルの構成 \(P.x\)](#)
- [関連マニュアル \(P.xi\)](#)
- [表記法 \(P.xi\)](#)
- [技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン \(P.xii\)](#)

目的

『*Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド for Cisco Unified Presence*』は、Cisco Unified Presence Serviceability プログラム (Real-Time Monitoring Tool (RTMT) など) に関する情報を提供します。

対象読者

『*Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド for Cisco Unified Presence*』は、Cisco Unified Presence システムの管理とサポートを担当するネットワーク管理者を対象としています。ネットワーク技術者、システム管理者、または電気通信技術者は、このマニュアルを参照してリモート サービスアビリティの機能を理解し、その管理を行います。テレフォニーおよび IP ネットワーキング テクノロジーに関する知識が必要です。

マニュアルの構成

次の表は、このマニュアルの構成を示しています。

章番号	説明
第 1 章「概要」	Cisco Unified Presence Serviceability アプリケーションとリモート保守アプリケーション、レポート作成ツールの概要を説明します。
第 2 章「サービスの管理」	Cisco Unified Presence のサービスをアクティブ化、非アクティブ化、開始、および停止する手順について説明します。
第 3 章「アラームの設定」	Cisco Unified Presence のアラームを設定する手順について説明します。
第 4 章「アラーム定義」	Cisco Unified Presence のアラーム定義を検索および編集する手順について説明します。
第 5 章「トレースの設定」	Cisco Unified Presence のサービスのトレース パラメータを設定する手順について説明します。
第 6 章「トラブルシューティング トレース設定値の設定」	トラブルシューティング トレースの設定値を設定する手順について説明します。
第 7 章「Real-Time Monitoring の 設定」	Real-Time Monitoring Tool を設定する手順について説明します。
第 8 章「RTMT でのアラート設定」	アラートプロパティの設定、アラートアクションの設定、アラート通知用の電子メールの設定など、Real-Time Monitoring Tool でアラートを操作する手順について説明します。
第 9 章「パフォーマンス モニタ リングの設定と使用」	パフォーマンス カウンタやカウンタの説明の表示など、パフォーマンス モニタを操作する手順について説明します。
第 10 章「RTMT の トレース収集 とログ集中管理」	Cisco Unified Presence のサービスとクラッシュ ダンプ ファイルのオンデマンド トレース収集を設定する方法、および適切なビューアでトレース ファイルを表示する方法について説明します。
第 11 章「RTMT SysLog Viewer の使用」	SysLog Viewer を使用する方法について説明します。
第 12 章「プラグインの使用」	Real-Time Monitoring Tool のプラグインをインストールおよび使用する方法について説明します。
第 13 章「Log Partition Monitoring の設定」	Log Partition Monitoring を設定して、特定のサーバ（またはクラスタ内のすべてのサーバ）のログパーティションでのディスク使用状況をモニタする方法について説明します。
第 14 章「Serviceability Reports Archive の設定」	Serviceability Reporter サービスによって生成されるレポートを表示する手順について説明します。
第 15 章「SNMP V1/V2c の設定」	SNMP バージョン 1 および 2c を設定する手順について説明します。
第 16 章「SNMP V3 の設定」	SNMP バージョン 3 を設定する手順について説明します。
第 17 章「MIB2 システム グループ の設定」	システムの連絡先およびシステムの場所のオブジェクトを MIB-II システム グループに設定する手順について説明します。

関連マニュアル

関連する Cisco IP テレフォニーのアプリケーションと製品の詳細については、『Cisco Unified Presence Documentation Guide』を参照してください。次の URL には、ドキュメントガイドへのパスのサンプルが表示されます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/<release #>/doc_gd/index.htm

表記法

このマニュアルは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは、 太字 で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字 の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> の screen フォントで示しています。
→	例の中で重要なテキストを強調しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ワンポイントアドバイスは、次のように表しています。



ワンポイント・アドバイス

時間を節約する方法です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

ヒントは、次のように表しています。



便利なヒントです。

注意は、次のように表しています。



「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告は、次のように表しています。



「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここには、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル（英文のみ）を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html